評価年度	令和2年度	事業実施年度	令和元年度	施策主管次長名	野々山 千広	
施策番号	4-1 施策名	工業	のさらなる成長を	総合計画掲載頁	110~111	
主担当部名 環境経済部						
関連課名	産業課	_	<u> </u>			

## 1 総合計画の目標指標

### PLAN & GOAL (中間値と最終目標値の確認)

取組分野1 工業 工業	R5	R10
指標名 工業系用途地域の面積	中間値	目標値
指標の市街化区域内の工業系用途地域の面積	415ha	420ha
定義	110114	120114
取組分野2	R5	R10
指標名	中間値	目標値
指標の		
定義		
取組分野3	R5	R10
指標名	中間値	目標値
指標の		
定義		
取組分野4	R5	R10
指標名	中間値	目標値
指標の		
定義		
取組分野5	R5	R10
指標名	中間値	目標値
指標の		
定義		

# 2 成果指標

## DO & REPLAN (実績を計上し計画値を再設定)

	取組	且分野	1 工業								
排	成	· <b>III</b>		単	位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標	
村村			企業誘致数	社	t	0	1	2	3	4	
15		示10		指標設定の	地域経済	斉の安定化に資するため、工場等建設に助成を行う。					
	対	占	事業所	考え方							
	XJ	涿	尹禾川	把握方法 助成金を交付した事業所数(累計)						•	

指	成果指標名		単位	立	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
標									
<b>信</b>			指標設定の						
	対象		考え方						
			把握方法						

指	成果指	5	単位	立	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
相	標名								
17.			指標設定の						
9	対象	象	考え方						
	刈水		把握方法						

指	: <del></del> ;	成果指		単作	位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
目標		票名								
4		ホ′口		指標設定の						
Ţ		対象	<b>象</b>	考え方						
	^	刈水		把握方法						

指	成果指		単作	立	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
標	標名	=							
5			指標設定の						
	対象		考え方						
	小多		把握方法		_				

## 3 施策の評価

## ANALYSE & CHECK(分析·評価)

		施策の分析(現状の確認と近隣調査)
施策の現状		意団地、莇生地区多機能用地工業団地、三好根浦特定土地区画整理事業等の工業用地の造成が完了し、それ 業団地への企業誘致は終了し、現在は福田池下地区工業団地の造成及び企業誘致に着手している。
成果向上に向けての	市民	・市民である事業者は、自らの企業活動を活性化し環境保全に努める。
市民と行政の役割分担	行政	・産業立地を推進し、企業活動、経営安定対策の充実に努める。
近隣市町 との比較	·工業団地	2の数や規模等、それぞれの市町により条件が異なるため、比較することができない。

	施策の評価(活動の振り返りと課題の明確化)
平成30年度 以前の活動	・平成28年度に開催された新規成長産業立地奨励金の申請企業に係る先端産業等立地奨励措置審査会において認定された企業が平成29年度に試験所を開設した。 ・市内における企業誘致や、産業構造の多角化及び高度化の推進並びに市民の雇用機会を創出し、本市の産業振興及び市民生活の安定に資するために必要な事項の調査・研究や推進を図るため、平成29年度にみよし市産業立地推進プロジェクトを設置した。
令和元年度 の 活動内容	・産業立地推進プロジェクト会議を開催し、福田池下地区工業団地募集要領(案)について検討した。(7/24)・みよし市企業誘致選定委員会を2回開催し、福田池下地区工業団地募集要領及び審査基準について検討を行い、募集の結果2社を選定した。(9/27、2/3)
積み残し課題等	・さらなる産業構造の多角化を目指し、従来の工場誘致はもとより、付加価値の高い先端産業や新規成長産業、ベンチャー起業家を支援していく必要がある。 ・企業立地にかかる優遇制度についての情報が企業に届きにくく、制度の利用頻度が少ないことから、企業訪問に努める必要がある。

## 4 活動計画

### ACTION & PLAN(目標を達成するために起こす行動)

1 /1 30 11 11	No non G TEANCE MEE A TOP I SO
令和2年度以降の 施策目標達成に 向けての取組の 方向性	・自動車関連産業や今後成長が期待される産業の充実を図り、また、既存企業への支援により市外への流出抑制に努める。 ・産業構造の多角化を図るとともに、既存の工業団地等の事業所の転出動向を注視し、進出希望企業等への情報提供に努める。 ・現在進行中の福田池下地区工業団地に続く、次の候補地選定や工業団地の基本計画策定等の業務を進めていく。
施策目標達成に 向けての 令和2年度の 活動内容	<ul> <li>・福田池下地区工業団地造成工事の推進。</li> <li>・産業振興に係る以下の事業を推進する。</li> <li>中小企業事業資金預託事業</li> <li>小規模企業等振興資金信用保証料補助事業</li> <li>小規模事業者経営改善資金利子補給補助事業</li> <li>企業再投資促進補助事業</li> <li>高度先端産業及び新規成長産業立地奨励事業</li> <li>ベンチャー起業家支援奨励事業</li> </ul>